

2012年産クルミ市況



アメリカ産クルミ、中国向け出荷が好調のため引き続き高値で推移

カリフォルニア現地時間の12月11日に11月末締めの出荷レポートが発表となりました。

これによりますと、殻付き、剥き実の合計出荷数量(殻付き換算)は、11月単月で8万6,328ショートトン(以下S/T:前年比99.4%)と微減となりましたが、9~11月の累計では20万4,308S/T(前年比105.2%)と、いまだ前年実績を上回る数量が出荷されています。

また、9~11月累計の国別出荷量では、昨年出荷が好調であったトルコ向けの殻付き出荷量が前年比79.8%(3,350S/T減)と落ち込んでいますが、一方で中国/香港向けの殻付き出荷が前年比145.6%(1万4,522S/T増)と、トルコ向けの落ち込みを補って余りある状況となっています。

中国向けの出荷が好調な要因としましては、2012年産中国クルミの作柄が悪い事が影響しており、雲南省、山西省、陝西省、甘粛省といった主要産地は、天候不良の影響で前年比約30%減産(新疆省は前年並み)といわれている事から、カリフォルニアクルミへの引き合いが増えている模様です。また、中国産のクルミは中国国内では比較的高い価格で売られているため、アメリカ産殻付きクルミもチャンドラー種ジャンボ/ラーサイズでポンド当たりUS\$1.98-2.05程度と高値での商いが続いており、旧正月以降必要分の手当ては年明け以降も続くと考えられている事から、当面は中国の需要は安定するものと思われます。

ただし、同じく11月末締めの出荷レポートで、カリフォルニアクルミの11月末現在での収穫実績が49万3,000S/Tに達し、9月のNASS(米国防務省)による最終収穫予想47万S/Tを上回る収穫数量(105%)が発表され、今後、供給量の上昇修正が市場にどの程度影響を与えるかが注目されています。

